

様式 1 学校評議員の会実施報告書

※該当箇所に○または掲載予定日をご記入ください

ホームページへの掲載	
済	7月10日 掲載予定

岐阜県立可児工業高等学校

学校長 豊吉 守

学校住所 可児市中恵土2358-1 電話0574-62-1185

1 会議の名称 学校評議員による会議（第1回）

2 会議の構成

委員	安達 邦満	可児市中恵土自治会会長
	石原 好弘	石原・大島設計事務所代表 同窓会監査
	佐藤 千枝	可児市青少年育成推進員
	玉田 吉孝	リンナイ精機取締役製造部長
	水野 妙子	多治見法人会可児支部女性部会長

（委員名は五十音順）

学校側	豊吉 守	校長
	長谷川清志	教頭
	小森 敏男	事務長
	古田 哲	教諭（教務部長）
	兼松 竹司	教諭（生徒指導部長）
	鈴木 宏	教諭（進路指導部長）
	大山 吉武	教諭（工業部長）

3 会議の目的 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、本校教育の一層の改善・充実を目指すために開催する。

4 会議の開催 平成20年6月23日(月) 13:30~15:30

於：可児工業高等学校 校長室

委員5人 学校側7人が出席 (全員出席)

- 5 会議の概要 今年度第1回目ということで、①学校長挨拶 ②委嘱書の交付、③出席者の自己紹介、④会の概要説明、⑤学校の現況説明、⑥授業及び施設見学 ⑦見学の感想を述べていただく ⑧評議員の方々から意見をいただく形式をとった。
⑨学校長お礼の言葉 ⑩次回の予定等事務連絡

(1) 本年度の教育活動について(授業及び施設見学含む)

サブテーマ ・特色ある学校づくりについて
・社会、企業が求める工業技術者とは

学校長より 教育目標等

- * 知・徳・体・技 工業高校として、技を加えものづくりの日本を支えていく人材に育成する。たくましく生きる力を身につける教育の実践(基礎学力・部活動・資格取得等又特別活動・地域活動)をして自ら進んでがんばれる生徒の育成を図る。
- * 地域との連携を深め、積極的に地域活動に参加し、開かれた学校づくりに努める。
- * 生徒の安全確保をめざす。学校の施設設備等の充実を図る。

各分掌長より今年の方針と重点を説明する

教務部(古田) 生徒指導部(兼松) 進路指導部(鈴木)
工業部(大山) がそれぞれ、5分程度で説明

校舎内見学 (14:00~14:30) 授業・実習・本校の施設設備等

意見交換

(1) 特色ある学校づくりについて

意見1 本日感じたこととして、自分の進路を決めるということに対しての指導について個人的な意見ですが、「ライフワークの決定」という位置づけが大事であると思います。

普通高校であれば、大学にいてもきまらない現状、（フリーター・若年浮浪者などが多い）工業高校ではそれが無い、60歳を超えた今、仕事と遊びが重なったら遊びを選ぶ今、仕事ばかりではなく段取りをよくすれば自分のライフワークも活かされるようになってきました。

自分のことと、仕事のことを両立を楽しめるような夢が大事では、そういうことを先生方から生徒に語っていただきたいと思います。

意見2 1年目はカルチャーショックでした。（すばらしさに）本当はもう少し悪い印象を持っていました。真剣に取り組んでいる姿に感心しています。

自分が所属している青少年推進委員会でも可児工業高校をPRしています。

そうしたことが進路の面でも現れているのでは、社会人としての可児工業高校の指導が素晴らしいと思います。

MSリーダーズの活動に対して、可児市市民会議より善行青少年として表彰されましたが表彰式に参加されていた生徒さん方も素晴らしい対応でした。

回答（生徒指導部）

遅刻0週間の指導の徹底（4月・5月の遅刻者数18人）指導の成果として現れている。社会人として最低限守らなければならないこととして全校（教師・生徒）の取り組みとして実践しています。

教育相談の充実を図り、生徒一人一人が本校に対して強い所属観を持たせ、本校の一員であることに充実感を持たせられるように教育相談の充実をめざします。

意見3 2年ほど前に甥が生徒として大変お世話になりました。

今年1年目の評議員としての感想を・・・

古い校舎ですが大変きれいに使われていることに感動しました。それもここで学んでおられる生徒さんのすばらしさがあってのことだと思いました。

そして何よりも生徒一人一人が幸せそうに学んでおられる姿に感動しました。先生の指導に信頼をよせているということではないでしょうか・・・

意見4 少人数の指導が大変素晴らしいと思いました。

可児工業高校の人気があるのもよくうなずけます。英語の授業などALTの先生に指導していただき幸せだと思いました、自分たちもこんな指導をしていただければもっと英語が好きになれたと付くづく思います。

意見5 実習の生徒の姿から、人間としての生き方・あり方の実践がなされていることがよくわかりました。生徒が生き生きしている姿がよく見えました。

企業から見るとうらやましい姿です。無気力無関心な生徒がいない、企業にはいると

そうした気持ち薄れるのは企業として多いに反省しなければいけないと強く思いました。
下から聞く（ボトムアップ）という姿勢が特にすばらしい
今年の新卒は商業高校から採用しましたが、5月病で悩んでいる、高校での進路指導で何をやりたいか、就職ならどこでもいいでは本人が不幸になるだけなので可見工業におかれましても、進路指導の充実、基礎基本をしっかりとすること、そうすれば社会に通用する人として迎えられたいと思います。

回答 進路ノートの活用・・自分を知るためのノート活用
会社見学・・未知の世界ではないという実感を植え付ける
そうした指導から主体的な進路実現をめざす姿勢を見につけさせる。

（2）本校に期待すること

意見1 現状の近況報告として、仕事量が少し減少している。（一部ではあるが）特に自動車関係にそうした動きが見受けられる。

しかし人がいらなくなったかということ、そうではないとにかく人材が集まらない、外部派遣に著らざるを得ない、新卒を採用することが大変難しい現状である。

若年労働層はまだ必要である。そうした中で工業高校の使命は大変重要であると思います。しかし工業高校であれば誰でもよいと言うことではありません、求められているときこそ、基礎基本を身につけさらに人としてどうあるべきかを学び求められるような人材となるよう努力してほしい。

意見2 建築は忙しいが、法律が変更になったので企業間で差があるのが現状である。土木は難しいが、設計は忙しいこれは耐震問題による構造不況である。

そうしたことをふまえて生徒に進路指導をしていただかないと選択ミスになることもあり得ます。しかしこの状況が続くとは限らないので、先の見通しをしっかりと把握することが大事ではないか

意見3 様々な教科がありますが、先生方が教科を超えた人生観が大事ではないか、話をする側の人生観、先生が人生のすばらしさを語れなくてはならないのではないのでしょうか。

回答 本校の生徒は学年が上がるたびに成長が著しい、それは各先生が生徒一人一人の目線に立って指導している結果だと思えます。しかしご指摘の部分をさらに校内研修等で教師一人一人の力量アップを図りたいと思います。

意見4 機械だから機械だけという狭い範囲ではなく、横断的な学習ができるような環境が大

事ではないか、機械の生徒が環境について学びたいという環境が大事

学校長 先日の県の校長会でこんな話がありました。

6～7人の企業人からの話として、円高、資財の高騰（ものづくりは資材から）ものづくりとしては様々な問題を抱えています。そうしたときの新卒求人の考え方としては量より質に変更せざるを得ない状況である。

そうした状況をふまえて学校現場は何をしなければいけないか、今一度学校現場として学校全体（生徒・職員）のアップを図る必要がある。

6 会議のまとめ

- ① 1人の方に今年度から評議員をお願いした。施設見学と授業参観では、工業高校の機械設備や授業内容に興味を示され、又、生徒の実習態度に感動を持たれた様子のコメントがあった。

日頃の可児工業高校の活躍を他の会議でもアピールしていただき、さらに地域に根付いた活動を展開していきたい。

- ② 「本年度の教育活動について」では、特に社会人としての能力の育成を重点に置いた指導が教育活動全般を通じて展開する必要があると意見をいただき、反映させたい。

知・徳・体・技のバランスのとれた生徒の育成に努めたい。（たくましく生きる力）

又、資格取得や部活動、地域活動にも積極的に取り組み、複雑な社会に通用する生徒の育成が大切であるとアドバイスをいただいたので、基礎基本の原点に戻る教育に努めたい。

- ③ 「本校に期待されるもの」については、生徒・職員とも地域住民を対象にした地域行事への積極的参加協力を行い、地域に期待される開かれた学校づくりを進めたい。学校周辺の「安心・安全な地域社会」スローガンを共有し、行事への参加や活動を展開し期待に応えたい。又、可児工業高校が生徒職員にとってほっとするような環境づくりと生徒一人一人が夢のある「ライフスタイル」を描けるような環境づくりに努めたい。（自ら進んでがんばれる生徒の育成）

今回は多数のご意見をいただきましたが、要望事項等は特にありませんでした。